

川野市長の市政を問う

～職員と一丸となって取り組む～

ます。必要を行なう。それを強化するため、課制を変えていく現制を高める。そのためには、横の連携と、組織が必要であると考えて、いく現制を高めることであります。

**答
市長**

機構改革は何を目的とするのか。



こうじなふみひろ
神志那文寛

日本共産党

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを図るために、現在償還払いとなつている市独自の現物給付の制度化に向け、検討を進めています。この拡大は、現在、県下圏で最高水準の制度を安定的にある本市の制度を実現可能なものとして運用していく必要があると現時点ではあります。

**答
市長**

制度は、全て窓口負担が無い現物給付にすべきでは。また、18歳まで拡大すべきでは。



就学援助の入学準備金に対する国からの補助単価が約2倍に引き上げられた。入学準備金は引き上げるべきでは。また文部科学省は入学前に支給することは可能との通知を3月31日に出し、入学準備金を入学前に支給する自治体が増えている。本市でも、直ちに準備に入るべきでは。

質

子育て支援の拡充を

～課題を整理しながら検討～

**答
教育長**

入学準備金の引き上げは、新しい単価で第1期の7月に支給するよう、準備を行つているところです。入学準備金の前倒しは、年度の開始前に支給できるよう補助金交付要綱が改正されたこ

とを踏まえ、保護者のニーズに対応しながら、支給の時期について検討していきたい。ただし、いくつかの課題を整理しなければならぬ。ただし、他の自治体の状況等を調査・研究しながら検討していきた

【様式2】 平成29年度 就学援助費受給申請書兼回答書・委任状(新規・継続) 福島大野市教育委員会 様 手取 年 月 日																																																																																																			
申請(保護)者 〒 _____ 住所 福島大野市 _____ 氏名 _____ 姓 祖姓氏 配偶者名 _____ 性別 男 女 年齢 _____ 自宅電話 _____ 携帯電話 _____																																																																																																			
就学援助費の受給を受けたいので、回答書類を添えて申請いたします。また、本申請書記載の回答書兼回答書の内容について確認いたします。																																																																																																			
【1. 保証を希望する児童生徒】 上記児童生徒以外の回答状況																																																																																																			
就学援助費の受給を希望する児童生徒として申請を記入してください。 年齢(誕生日) 年齢(誕生日) 又は学年(学年) 年齢(誕生日) 又は学年(学年)																																																																																																			
<table border="1"> <tr> <td>学 校 名</td> <td>学 年</td> <td>姓 約</td> <td>年齢(誕生日)</td> <td>性 别</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> </tr> <tr> <td>福島大野市立</td> <td>学年</td> <td>姓 約</td> <td>年齢(誕生日)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> </tr> <tr> <td>福島大野市立</td> <td>学年</td> <td>姓 約</td> <td>年齢(誕生日)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> </tr> <tr> <td>福島大野市立</td> <td>学年</td> <td>姓 約</td> <td>年齢(誕生日)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> </tr> <tr> <td>福島大野市立</td> <td>学年</td> <td>姓 約</td> <td>年齢(誕生日)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> <td>性 別</td> <td>年 齢(学年)</td> </tr> </table>										学 校 名	学 年	姓 約	年齢(誕生日)	性 别	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	福島大野市立	学年	姓 約	年齢(誕生日)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	福島大野市立	学年	姓 約	年齢(誕生日)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	福島大野市立	学年	姓 約	年齢(誕生日)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	福島大野市立	学年	姓 約	年齢(誕生日)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)																																								
学 校 名	学 年	姓 約	年齢(誕生日)	性 别	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)																																																																																										
福島大野市立	学年	姓 約	年齢(誕生日)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)																																																																																										
福島大野市立	学年	姓 約	年齢(誕生日)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)																																																																																										
福島大野市立	学年	姓 約	年齢(誕生日)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)																																																																																										
福島大野市立	学年	姓 約	年齢(誕生日)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)	性 別	年 齢(学年)																																																																																										
【2. 上記児童生徒以外の回答状況】																																																																																																			
就学援助費の受給を希望する児童生徒として申請を記入してください。 年齢(誕生日) 年齢(誕生日) 又は学年(学年) 年齢(誕生日) 又は学年(学年)																																																																																																			
<table border="1"> <tr> <td>氏 名</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> </table>										氏 名	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	1	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	2	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	3	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	4	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	5	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	6	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	7	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	8	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別
氏 名	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
1	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
2	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
3	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
4	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
5	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
6	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
7	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
8	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
【教育委員会記入欄】※この欄について、申請(保護)者は、記入しないでください。																																																																																																			
<table border="1"> <tr> <td>認定</td> <td>年 齢</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>認定の可否</td> <td>認定</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td>不認定</td> <td>不認定</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> <td>年 齢</td> <td>性 別</td> </tr> <tr> <td colspan="10">決定年月日 年成 月 日</td> </tr> </table>										認定	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	認定の可否	認定	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	不認定	不認定	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	決定年月日 年成 月 日																																																											
認定	年 齢	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
認定の可否	認定	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
不認定	不認定	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別	年 齢	性 別																																																																																										
決定年月日 年成 月 日																																																																																																			

就学援助の申請書



穴見眞児

市民クラブ

は。市民病院の利用状況



市民病院玄関前

了成から30年3月に予定です。工事を再開し、が完平月・月まで8%です。今後は工事の進捗率は5月に工事検討・変更等により工期を延長しました。

答
建設課長

工事用道路の工事の発注からの進捗状況と今後の見通しは。

携帯電話不感エリア解消を

～今後も粘り強く事業要望を継続～

答
市長

平成26年度から国・県の補助を受けた携帯電話等エリア整備事業に取り組んできました。本市は九州内でも積極的にこの事業に取り

アがあるが、市民の安心安全や利便性を考えるとき、携帯電話の中継基地の設置を積極的に働きかける必要があると思われる。市の見解と今後の施策を伺う。

質

組む自治体の一つであり、今後も携帯電話の不感地域解消のため、粘り強く事業要望を継続していきます。

市民病院へのアクセスは

～運行改善に努める～

質

平成28年度の外来患者総数は8万8719人で、このうち本市が368・7%、その他31・3%となっています。

利用比率によるコミュニティバスの増便の考えは。また、乗り換えが不便との意見があるが路線の見直しや検証等は行っているか。

答
市民病院事務長

病院の立地場所、1日当たりの利用者数を考えると市民病院への接続路線の増便は困難な状況です。今後はコミュニティバス路線を補う交通手段として、相乗りタクシーの利用促進、運行

改善に努めます。路線の見直しや検証は既存路線の見直し等を行每年10月1日にダイヤ改正を行います。

答
まちづくり推進課長

轟橋はいつ復旧する

～平成30年3月に完成予定～

質

とどろばし